

平成23年度  
実施事業

事務事業名 エゾアワビ種苗放流事業補助金

| 区分     | No  | 名称  |
|--------|-----|---|
| 章      | 3   | 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち                     |
| 節      | 2   | 自然を活かした産業の育成                              |
| 施策     | 1   | 特色ある農業・漁業の推進                              |
| 小分類    | 5   | 時代に即した漁業生産の基盤づくり                          |
| 主要な施策  | 1   | 資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進                        |
| 事務事業番号 | 004 | 事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 25 年度 会計種別 一般会計 |

|     |       |       |        |
|-----|-------|-------|--------|
| 部 名 | 観光経済部 | グループ名 | 農林水産 G |
|-----|-------|-------|--------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

|          |  |
|----------|--|
| 目的       | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください)   |
|          | いぶり中央漁業協同組合が行う取り組みを支援することにより、「つくり育てる漁業」や「新しい資源づくり」の推進を図る。  |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)   |
|          | 試験的にエゾアワビの人工種苗を当市海域に放流し、生息環境や放流後の成長・残存等を調査し、増殖の可能性について調査を行ういぶり中央漁業協同組合に対し、事業費の一部を補助する。<br>【平成23年度事業実績】<br>北海道栽培漁業振興公社熊石事業所で生産されたエゾアワビの人工種苗1万個を当市海域の適地に放流 |
| 今後の方向性   | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)  |
|          | 試験放流として平成25年度まで事業を継続した上で、増殖の可能性について判断する。   |
| 根拠法令等    | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)   |
|          | 登別市水産業振興対策事業補助規則   |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区分     |    | 単位 | H22年度<br>決算 | H23年度<br>決算 | H24年度<br>当初予算 | H25年度<br>見込 | H26年度<br>見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金  | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| 道支出金   | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| 地方債    | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| その他    | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| 一般財源   | 名称 | 千円 |             | 300         | 354           | 354         |             |
| 事業費 合計 |    |    | 0           | 300         | 354           | 354         | 0           |

指標の推移

《Check》

| 区分       |            | 単位 | 区分  | 22年度<br>実績 | 23年度<br>実績 | 24年度<br>目標 | 25年度<br>目標 | 26年度<br>目標 |
|----------|------------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果<br>指標 | 放流後の追跡調査回数 | 回  | 目標値 |            | 1          | 1          | 1          |            |
|          |            |    | 実績値 |            | 1          |            |            |            |
|          |            |    | 目標値 |            |            |            |            |            |
|          |            |    | 実績値 |            |            |            |            |            |

現況 《Check》

| 現状の状態、問題点、課題等《事業前》   | 具体的な対策、解決の方向性《事業後》  |
|--|---|
| <p>現状の課題</p> <p>当市の漁業形態は、スケトウダラに代表される回遊魚を漁獲する漁業が中心であることから、自然環境の影響を受けやすく漁家経営の不安定要因となっている。</p> | <p>具体的な対策</p> <p>エゾアワビは従来より日本海沿岸や噴火湾の一部に生息し、室蘭以東の太平洋海域では分布していないとされていたが、近年、当市海域において、エゾアワビの生息が確認されるようになり、漁業関係者から「新しい資源」として関心が高まっていた。このため、漁業専門員を中心とし、試験的にエゾアワビの人工種苗を放流し、生息漁場の環境や放流後の成長・残存等を調査し、増殖の可能性について検討を行うこととした。</p> |

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

| 1. 事務事業の妥当性について                   |                        |             |  |
|-----------------------------------|------------------------|-------------|--|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？     | 市が主体に行うべき事業である         | 判断理由及びその他所見 | 「つくり育てる漁業」や「新しい資源づくり」が推進される。   |
|                                   | 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である |             |  |
|                                   | 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である |             |  |
|                                   | 国、道、民間等の事業と重複・類似している   |             |  |
| 2. 事務事業の必要性について                   |                        |             |  |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？      | 市民、団体等から具体的な要望がある      | 判断理由及びその他所見 | 当市の漁業形態は、スケトウダラに代表される回遊魚を漁獲する漁業が中心であることから、自然環境の影響を受けやすく、漁家経営の不安定要因となっている。このため、「つくり育てる漁業」の推進が求められている。 |
|                                   | 市民アンケートの結果から必要性が高い     |             |  |
|                                   | 社会情勢、地域事情等から必要性が高い     |             |  |
|                                   | 市民の大部分が関連することから必要性が高い  |             |  |
| 3. 事務事業の効率性について                   |                        |             |  |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | 低予算、少労力で高い効果をあげている     | 判断理由及びその他所見 | いぶり中央漁業協同組合が実施している事業であり、その経費の一部を支援することで高い効果をあげている。   |
|                                   | 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い  |             |  |
|                                   | 多額の経費や労力を要するがやむを得ない    |             |  |
|                                   | 将来的に効率性を向上できる          |             |  |
| 4. 事務事業の成果について                    |                        |             |  |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？            | 成果指標の向上が見られる           | 判断理由及びその他所見 | 追跡調査の結果、殻長30mmで放流した人工種苗は、平均殻長44mmに成長しており、順調に成長しているものと推察される。  |
|                                   | 市民、団体等の声から成果を感じられる     |             |  |
|                                   | 目に見える形で成果があがっている       |             |  |
|                                   | 成果の把握は困難である            |             |  |

担当グループによる評価 《Check》

|    |                      |   |
|----|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) | 放流した種苗が漁獲可能サイズに成長するまで2・3年を要することから、試験放流として平成25年度までの3カ年、事業を継続した上で、増殖の可能性について判断する。 |
|----|----------------------|---|

行政評価会議による評価 《Check》

|    |    |  |
|----|----|--|
| 維持 | 備考 |  |
|----|----|--|